

# 消防千葉

2024 No.601 令和6年1月号

## 目次

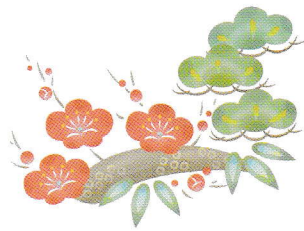
|                                |       |
|--------------------------------|-------|
| 年頭のごあいさつ（千葉県知事・千葉県消防協会長）       | 2・3   |
| 年始のごあいさつ（消防協会役員・評議員・顧問・消防団長等）  | 4・5   |
| 令和5年度消防功労者等の決定                 | 6     |
| 令和5年度消防団員指導員研修                 | 7・8   |
| 消防学校1日入団・入校体験会                 | 9     |
| 令和5年度関東ブロック女性防火クラブ連絡協議会幹部地域研修会 | 10    |
| わが町の消防団（柏市消防団・酒々井町消防団）         | 11・12 |
| 東西南北                           | 13    |
| 日々の動き                          | 14    |



台風第13号 長生郡市広域市町村圏組合消防本部活動写真（茂原市）長生支部



## 年頭のごあいさつ



謹んで新年の御挨拶を  
申し上げます。



県内 32,000 有余名の消防職員、消防団員並びに関係者の皆様におかれましては、日夜、火災・地震・風水害などの各種災害から、地域住民の生命、身体及び財産を守る責務を全うするため、献身的に職務に精励されておりますことに、深く敬意と感謝の意を表します。

昨年は、5月に木更津市で震度5強、銚子市や旭市で震度5弱の地震が発生、その後、9月には台風第13号の接近に伴う大雨により、茂原市をはじめ広範囲で多数の住家等の浸水被害が生じるなど、多くの方が被災されました。

被災地では、消防職員はもちろん、消防団員の皆様方が、救出活動や消防車両での排水作業、更には警戒活動にあられるなど、地域住民の力になっていただきましたこと、心から感謝申し上げます。

県としましては、国や関係機関と連携し、被災地の復旧・復興に全力で取り組むほか、災害に強い「防災県」の確立に向け、消防力の充実強化を図るとともに、消防をはじめとする関係機関との連携協力を深め、これまでの教訓も活かしながら、防災力の一層の向上に努めてまいります。

その一方で、地域防災力の中核を担う消防団の活性化が大きな課題であると認識しており、県では、団員の皆様の御意見を伺いながら、消防団活動のあり方を検討しているほか、消防団の魅力発信や入団促進に向けた様々な取組を、引き続き、実施してまいりたいと考えています。

関係者の皆様方におかれましては、激甚化する風水害や発生が危惧される南海トラフ地震などの大規模災害に備え、地域住民の安全、安心確保のために、引き続き御尽力くださいますようお願い申し上げます。

結びに、本県消防のますますの御発展と、皆様の御健勝、御活躍をお祈り申し上げます。年頭の挨拶といたします。

令和6年元旦

千葉県知事 熊谷 俊人

## 年頭のごあいさつ



令和6年の新春を迎え、  
謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。



消防職・団員並びに消防関係者の皆様には、常日頃から地域の安全・安心を守るため、地域防災の最前線に立ち、日夜献身的な活動を続けていただいておりますことに、心から敬意と感謝の意を表します。

また、平素から当協会の運営や活動に対して格別のご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の行動制限が緩和されたことにより、社会経済活動はコロナ前に戻りつつあり、昨年は4年ぶりに全国女性消防操法大会が東京都で開催され、本県代表の館山市女性消防隊が8位入賞という輝かしい成績を残しました。

また、当協会においても、縮小又は中止していた県消防操法大会や県消防殉職者慰霊祭などの行事をコロナ以前に近い形で実施したところです。

自治体消防は、関係各位のご努力により、各時代の要請に応えながら着実な発展を遂げ、今や地域住民に最も身近な防災機関として、住民から大きな期待と信頼が寄せられております。

こうした中で、昨年は5月に木更津市で震度5強の地震が発生するなど全国各地で地震が頻発し、また、台風や集中豪雨などの自然災害も全国各地で多発しており、9月には台風13号の接近に伴う大雨により、茂原市をはじめ広範囲で大きな被害がもたらされたところです。献身的にその対応に当たられた皆様に改めて感謝を申し上げます。

当協会といたしましても、快適で安全・安心な郷土づくりのために、各地の消防団が常備消防と協力して消防活動がより安全で迅速なものとなりますよう、さらに努力してまいります。

新しい年を迎え、気持ちも新たに千葉県消防発展のため、防火防災思想の普及啓発、消防職・団員の福利厚生促進をはじめ消防団員の確保と消防団の活性化にも全力で取り組んでまいりますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますとともに、ご指導、ご鞭撻の程、よろしく願い申し上げます。

結びに、千葉県消防のますますのご発展並びに皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

令和6年元旦

公益財団法人千葉県消防協会会長  
千葉県少年女性防火委員会会長

石橋 毅



# 明けておめでとうございます 令和6年元旦



**香 取 支 部**  
 香取広城市町村圏事務組合  
 香取市消防団長 川口善美  
 神崎町消防団長 遠藤栄治  
 香取広城市町村圏事務組合  
 多古町消防団長 工藤和明  
 香取広城市町村圏事務組合  
 東庄町消防団長 岩瀬 隆  
**海 匝 支 部**  
 銚子市消防団長 芝岸 弘  
 匝瑳市消防団長 秋山忠史  
 旭市消防団長 加瀬 一雄  
**山 武 支 部**  
 東金市消防団長 橋本吉保  
 山武市消防団長 山本 稔  
 大網白里市消防団長 中野 修  
 九十九里町消防団長 古川克俊  
 芝山町消防団長 松本重之  
 横芝光町消防団長 川島光男

会 長 石橋 毅  
 副会長 (消防長会長) 白井一広  
 同 (海匝支部長) 芝岸 弘  
 同 (東葛飾支部長) 安達 博  
 同 (安房支部長) 吉野隆志  
 同 (千葉支部長) 佐藤 薫  
 理 事  
 同 (印旛支部長) 河上 茂  
 同 (香取支部長) 中村教雄  
 同 (山武支部長) 遠藤栄治  
 同 (長生支部長) 古川克俊  
 同 (夷隅支部長) 田邊 茂  
 同 (君津支部長) 齋藤信一  
 同 (消防長会) 平野宏行  
 同 (消防長会) 丸 彦衛  
 同 (消防長会) 監物秋夫  
 同 (県消防課長) 室田泰彦  
 同 (県消防学校長) 大石 学  
 専務理事 伊藤亮一  
 常務理事 小神野光俊  
 監 事 (東葛飾支部) 小嶋 功  
 同 (香取支部) 岩瀬 隆  
 同 (消防長会) 高梨俊治  
 同 (公認会計士) 草薙信久

公益財団法人千葉県消防協会役員

千葉県消防協会評議員

**長 生 支 部**  
 長生郡市広城市町村圏組合  
 消防団長 田邊 茂  
**夷 隅 支 部**  
 勝浦市消防団長 黒川民雄  
 いすみ市消防団長 露崎信夫  
 大多喜町消防団長 齋藤信一  
 御宿町消防団長 井上峰男  
**安 房 支 部**  
 館山市消防団長 吉野隆志  
 鴨川市消防団長 川崎浩之  
 南房総市消防団長 木村庸一  
 鋸南町消防団長 大胡昌広  
**君 津 支 部**  
 木更津市消防団長 細野 暢  
 君津市消防団長 平野宏之  
 富津市消防団長 澤田正弘  
 袖ヶ浦市消防団長 景山幸雄



千 葉 支 部 佐藤伸一  
 同 江口茂男  
 東葛飾支部 澤本保敏  
 同 鈴木 哲  
 印旛支部 青野 穰  
 同 根本貴博  
 香取支部 狼田 繁  
 同 工藤和明  
 海匝支部 土屋 修  
 同 加瀬一雄  
 山武支部 内山真司  
 同 中野 修  
 長生支部 中村希一  
 同 関野富男  
 夷隅支部 井上真一  
 同 井上峰男  
 安房支部 笹子幸男  
 同 木村庸一  
 君津支部 鳥飼信也  
 同 景山幸雄

**千 葉 県**  
 防災危機管理部長 添谷 進  
 地域防災担当部長 松尾三洋  
 防災危機管理部長 座間勝美  
 消防課長 室田泰彦  
 消防学校長 大石 学



**千 葉 県 消防協会準会員**  
 一般社団法人千葉県消防設備協会  
 鬼怒川ゴム工業株式会社  
 日本曹達株式会社 千葉工場  
 株式会社MORESCO 千葉工場  
 丸善石油化学株式会社 千葉工場  
 AGC株式会社 千葉工場  
 コスモ石油株式会社 千葉製油所  
 住友化学株式会社 千葉製油所  
 千葉工場環境安全部  
 大阪国際石油精製株式会社  
 三井化学株式会社 市原工場  
 株式会社レソナック 五井事業所

公益財団法人千葉県消防協会顧問会役員等

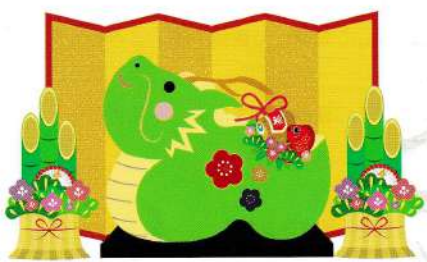
相談役 目良和夫  
 会 長 吉野正壽  
 副会長 内藤 肇  
 同 石井友治  
 同 五木田祥一  
 同 飯高健次  
 同 畔蒜晴夫  
 同 廣田元一  
 同 鈴木俊一  
 監 事 高橋 論



千 葉 支 部  
 千葉市消防団長 佐藤 薫  
 習志野市消防団長 飯田裕一  
 市原市消防団長 横須賀隆行  
 八千代市消防団長 江口茂男  
 東 葛 飾 支 部  
 市川市消防団長 安達 博  
 船橋市消防団長 鎌倉博光  
 松戸市消防団長 小嶋 功  
 野田市消防団長 逆井健一  
 柏市消防団長 鈴木 哲  
 流山市消防団長 梅澤一雄  
 我孫子市消防団長 鈴木 誠  
 鎌ヶ谷市消防団長 飯田喜治  
 浦安市消防団長 大川三敏  
 印 旛 支 部  
 成田市消防団長 藤崎和彦  
 佐倉市消防団長 齋藤達弥  
 四街道市消防団長 河田政実  
 八街市消防団長 成岡利明  
 印西市消防団長 宮本 浩  
 白井市消防団長 中村教雄  
 富里市消防団長 大澤 弘  
 酒々井町消防団長 関根勇夫  
 笑町消防団長 根本貴博

県下市町村消防団長

デンカ株式会社 千葉工場  
 日本中央競馬会 中山競馬場  
 流山キックマン株式会社  
 成田国際空港株式会社  
 成田山新勝寺  
 日華化学株式会社 関東工場  
 三井化学株式会社  
 茂原分工場安全環境グループ  
 双葉電子工業株式会社  
 広栄化学株式会社 千葉工場  
 富士石油株式会社 袖ヶ浦製油所  
 NAAセーフティサポート株式会社  
 (順不同)





# 令和5年度 消防功労者等の決定

消防業務又は消防行政などに功労のあったもの及び消防の永年勤続者に対して、公益財団法人日本消防協会と公益財団法人千葉県消防協会から表彰する消防功労者等がこのたび決定しました。令和5年度は、1,424人が受章されます。

(1) 公益財団法人日本消防協会長表彰 令和6年3月8日(金)

ニッショーホール

(2) 公益財団法人千葉県消防協会長表彰 令和6年3月22日(金)

青葉の森公園芸術文化ホール

## 支部別消防功労者等一覧

令和5年12月26日現在

|          | 千葉    | 東葛飾 | 印旛  | 香取 | 海匝 | 山武  | 長生 | 夷隅 | 安房 | 君津  | 協会 | 合計    |
|----------|-------|-----|-----|----|----|-----|----|----|----|-----|----|-------|
| 日本消防協会長  | 58    | 172 | 68  | 11 | 22 | 20  | 18 | 19 | 12 | 36  |    | 436   |
| 特別功労章    |       |     |     |    |    |     |    |    |    |     |    | 0     |
| 特別表彰まとい  |       | 1   |     |    |    |     |    |    |    |     |    | 1     |
| 表彰旗      |       |     | 1   |    |    |     |    |    |    |     |    | 1     |
| 竿頭綬      |       |     |     |    |    |     |    |    |    |     |    | 0     |
| 功績章(一般)  | 4     | 6   | 5   | 2  | 2  | 3   | 2  | 2  | 2  | 3   |    | 31    |
| 功績章(女性)  |       | 1   |     |    |    |     |    |    |    |     |    | 1     |
| 精績章(一般)  | 10    | 15  | 13  | 5  | 5  | 7   | 4  | 5  | 5  | 6   |    | 75    |
| 精績章(女性)  | 1     | 1   |     |    |    |     |    |    |    |     |    | 2     |
| 勤続章      | 43    | 148 | 49  | 4  | 15 | 10  | 12 | 12 | 5  | 27  |    | 325   |
| 優良女性消防隊  |       |     |     |    |    |     |    |    |    |     |    | 0     |
| 優良女性消防隊員 |       |     |     |    |    |     |    |    |    |     |    | 0     |
| 永年勤続職員表彰 |       |     |     |    |    |     |    |    |    |     |    | 0     |
| 千葉県消防協会長 | 153   | 274 | 144 | 45 | 52 | 96  | 55 | 41 | 62 | 66  |    | 988   |
| 出初式      | 61    | 96  | 75  | 33 | 32 | 41  | 23 | 28 | 33 | 39  |    | 461   |
| 功労章      | 15    | 24  | 19  | 8  | 8  | 10  | 6  | 7  | 8  | 10  |    | 115   |
| 精勤章      | 46    | 72  | 56  | 25 | 24 | 31  | 17 | 21 | 25 | 29  |    | 346   |
| 消防大会     | 92    | 178 | 69  | 12 | 20 | 55  | 32 | 13 | 29 | 27  |    | 527   |
| 特別功労章    | 1     | 1   | 1   | 1  |    | 1   | 1  | 1  | 1  | 1   |    | 9     |
| 永年勤続功労章  | 50    | 95  | 38  | 5  | 12 | 36  | 15 | 7  | 9  | 14  |    | 281   |
| 功績章      | 4     | 6   | 6   | 2  | 2  | 3   | 2  | 2  | 2  | 3   |    | 32    |
| 表彰状      | 個人    | /   | /   | /  | /  | /   | /  | /  | 7  | /   |    | 7     |
|          | 団体    | 1   | /   | /  | /  | 1   | /  | /  | 1  | /   |    | 3     |
| 感謝状      | ア(配偶) | 36  | 76  | 24 | 4  | 5   | 15 | 14 | 3  | 7   | 9  | 193   |
|          | イ     | /   | /   | /  | /  | /   | /  | /  | 2  | /   |    | 2     |
| 合計       | 211   | 446 | 212 | 56 | 74 | 116 | 73 | 60 | 74 | 102 |    | 1,424 |



## 令和5年度 消防団員指導員研修の開催 【11月25日(土)～26日(日)】

新入団員や比較的経験の浅い消防団員の教育訓練にあたる消防団の副団長、分団長など幹部を対象にした指導員の養成研修が、11月25日から26日の2日間の日程で千葉県消防学校において開催されました。

研修には28所属、35名が参加し、25日9時から入校式が行われ、国歌斉唱、入校生指名点呼の後、石橋消防協会長の式辞、大石消防学校長及び吉野消防協会副会長（館山市消防団長）の挨拶がありました。その後、幹部の心得、研修指導・住民指導（VR体験）などの講義を受け、午後からは屋外訓練場において「訓練礼式」及び「火災防ぎょ・水災活動」の現地訓練を行いました。

翌日は、8時30分の朝礼に続き、「訓練礼式」「救助活動・救命活動」及び「災害情報収集・伝達」訓練を行い、午後3時30分からの修了式では、全員に日本消防協会修了証書が授与され、全課程を修了しました。



石橋会長式辞



大石消防学校長挨拶



吉野副会長挨拶





○研修の状況



住民指導 (VR 体験)



訓練礼式



水災活動 (ドローン体験)



火災防ぎょ訓練



救命活動訓練



救助活動訓練



災害情報収集・伝達訓練



修了証書授与



## 消防学校 1日入団・入校体験会

県消防課は、令和5年12月2日(土)、千葉県消防学校において、1日入団・入校体験会を開催しました。この体験会は、近年消防団員数の減少が大きな課題となるなか、地域防災の将来の担い手である若者の消防防災への意識の向上と消防活動に対する理解を図るため、県内の大学、専門学校、高等学校に通う学生を対象に開催され、将来的な消防団員・職員の確保に繋げようとするものであり、県内各地から71名(内、高校生13名・女性2名)が参加しました。

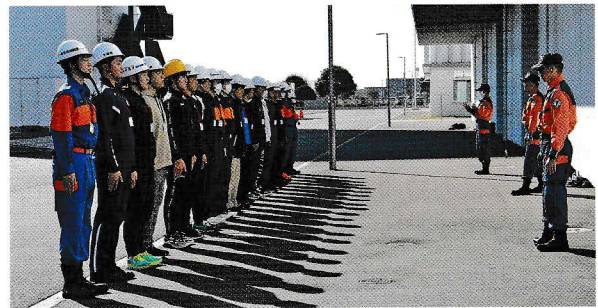
当日は、大石消防学校長の挨拶のあと、消防学校の概要説明、10時からはグループに分かれ規律訓練、放水訓練・AFT訓練、救急訓練が行われました。

午後からは、VR訓練、呼吸器取扱訓練、濃煙体験訓練、ロープ結索・渡過訓練、消防・救急自動車体験乗車と多くのメニューが用意され、更に、消防学校教官との座談会では、消防職員の心構えや消防活動に関する様々な質問がされ、活発な意見交換が行われました。

最後に、帝京平成大学と千葉科学大学の学生消防(隊)団の皆さんから活動紹介行われ体験会は終了となりました。



大石消防学校長



規律訓練



放水訓練



救急訓練



ロープ渡過訓練



教官との座談会



## 令和5年度 関東ブロック女性防火クラブ 連絡協議会幹部地域研修会

千葉県女性防火クラブ連絡協議会 副会長 佐々木 喜代枝

令和5年11月27日(月)、28日(火)の二日間、栃木県宇都宮市のライトキューブ宇都宮で令和5年度研修会が開催されました。千葉県からは、竹内久子会長、佐々木喜代枝副会長、大矢絵里子監事の3名が参加しました。当日は主催者と来賓の挨拶の後、基調講演、各都県クラブによる活動報告が行われました。

### ◆主催者挨拶

栃木県女性防火クラブ連合会会長 木沢トモ子氏

### ◆来賓挨拶

一般社団法人日本防災・防災協会理事長 高尾和彦氏

今年は関東大震災から100年全国各地で催しが行われており改めて災害への備えを再確認する年になりました。災害を最小限にするために女性防火クラブ員はその実力を発揮してほしいと挨拶がありました。

### ◆基調講演

一般社団法人とちぎ市民協働研究会代表理事  
廣瀬隆人氏

「つながりつくりと防災」をテーマにお話いただきました。昨今では、町内会や自治会など住民意識の担い手不足がコミュニティの共助機能の低下を、消防団員やクラブ員の減少が地域の防災力の低下を招いている現状があります。災害や事故など大きな禍による被害を受けると、地域のまとまりの必要性が声高に言われます。その為にも日頃からのつながりが大事で自分達の地域からその意識を高めるように活動してほしいと講演されました。

お二人の挨拶と講演で改めて私達女性防火クラブ員の活動を認識しました。また、どこのクラブも年々クラブ員が減少していることも課題になっています。

日頃から他団体と連携し防火防災は地域住民の共通問題として呼びかける、「地域との連携・協働活動」が大事であると感じた研修会でした。

2日目は、カルビー清原工場を視察し、帰路では昨年11月に開通した黄色のLRT(路面電車)に乗る機会もありました。最後は次年度開催県茨城県会長三次雅子氏の挨拶で解散しました。



竹内会長



左 佐々木副会長 右 大矢監事





## わが町の消防団 ① 柏市消防団

柏市は、千葉県の北西端に近く、利根川を境に茨城県と接し、隣接の野田市、流山市、我孫子市、松戸市、鎌ヶ谷市や周辺の市川市、船橋市、浦安市を加えた、東葛飾地域の



ほか、印旛地区の白井市、印西市とも隣接しています。市の中央には、JR常磐線や東武野田線（東武アーバンパークライン）、国道6号線と16号線が交差するなど交通の要衝となっています。北部にはつくばエクスプレスが通っており、柏の葉キャンパスと呼ばれる広大な教育研究

地区があり、多くの大学や研究機関が集まった教育・研究の最先端を体験することができ、近代的な側面が強い一方、あけぼの山農業公園や北柏ふるさと公園、手賀の丘公園など、四季折々の美しい風景や、手賀沼自然ふれあい緑道でのウォーキングやサイクリングといった自然に触れられるスポットが多く存在しています。

さて、柏市消防団では現在、1本部43分団、鈴木消防団長以下569名（令和5年4月1日現在）の消防団員で活動しています。本年はコロナ禍前と同様に消防団事業を展開しており、4年ぶりとなった柏市消防操法大会をはじめ、消防出初式、各種訓練、柏まつりや手賀沼花火大会の警備、救命講習会、防災イベント会場での防火・防災普及活動など、災害対応への備えや地域防災普及啓発活動を実施しています。



また、市内高校生を対象とした出前講座や、未来の地域防災を担うこどもたちへ、防災意識の早期形成を目的に、女性分団が自ら作成した防災紙芝居、通称パネルシアターを市内保育園、各防災イベントで披露するなど積極的に活動の幅を広げています。今後も地域とのつながりを大切にしながら関係機関との連携を密にし、地域防災の要として市民の安心・安全のため活動して参ります。



また、市内高校生を対象とした出前講座や、未来の地域防災を担うこどもたちへ、防災意識の早期形成を目的に、女性分団が自ら作成した防災紙芝居、通称パネルシアターを市内保育園、各防災イベントで披露するなど積極的に活動の幅を広げています。今後も地域とのつながりを大切にしながら関係機関との連携を密にし、地域防災の要として市民の安心・安全のため活動して参ります。



## わが町の消防団 ② 酒々井町消防団

酒々井町は、千葉県の北部、北総台地に位置し、都心から50キロメートルの圏内にあって、北西部には印旛沼、東南部には北総台地を配し、緑豊かな自然環境と温暖な気候に恵まれています。

歴史的には、旧石器時代の遺跡や国指定史跡の本佐倉城跡など貴重な歴史文化遺産が多数存在する歴史と伝統に包まれた町です。

一方で、住宅開発に伴う人口増加により住宅都市へと大きくその姿を変え、それまで6千人前後であった人口も今では2万人を超えるまでになりました。また、酒々井インターチェンジの開通とともに酒々井プレミアム・アウトレットが開業するなどし



町の知名度も飛躍的に向上し、本年4月には町制施行135周年の節目を迎え、「日本で一番古い町」として今後もさらなる活性化が期待されます。

酒々井町消防団は、関根勇夫団長以下141名（13分団編成）で組織され、消防ポンプ自動車2台、小型動力ポンプ付積載車11台を配備しており、町民の安全安心のため、地域に密着した活動を行っています。

主な行事は、出初式をはじめとする恒例行事や、各種訓練、啓発活動、各地区での夜間警戒活動等を行っています。

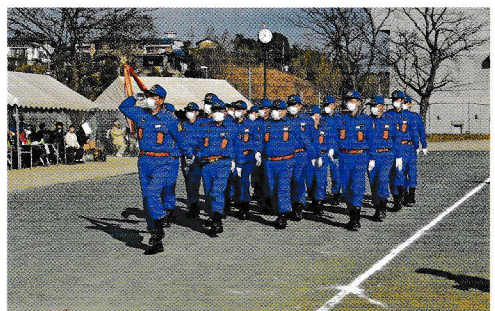
訓練については、操法訓練をはじめ、規律訓練や無水利地区を想定した中継放水訓練、情報伝達訓練の他、救急救命講習、町の防災訓練への参加などいつ起こるかわからない災害に備え消防団員としての知識・技術の向上を図っています。

啓発活動では、ふるさとまつりにおいて消防団PRブースを設けて、消防団活動の紹介や、消防車両への乗車体験等を実施するほか、水消火器を用いた初期消火指導や団員募集の啓発活動を行っています。

そのほか、地域の祭りの警備や消防以外での地域行事にも積極的に参加しており、地域での消防団への期待と役割は重要なものとなっています。

消防団は、地域の事情に精通しており、地域防災力の要とされていますが、近年全国的に消防団員数が減少傾向にある中、当町消防団も例外ではなく、少子高齢化や就業形態の変化によるサラリーマンの増加や、地域連帯意識の希薄化等によって消防団員数の減少や団員の高齢化が年々進んでおり、活動力の低下が懸念されています。また、多様化・激甚化する近年の大規模災害の発生を受け、消防団への、期待と役割は今後ますます大きくなっていくことが想定されます。

我々酒々井町消防団は、現在直面している課題と向き合い、活力ある消防団員の確保を図っていくとともに、今後も地域に必要な組織として、町民の皆様から信頼され、頼りになる消防団となるべく、町、消防署、地域と連携し、災害に強い「100年安心して住めるまち」を目指して団員が一丸となって活動を行って参ります。





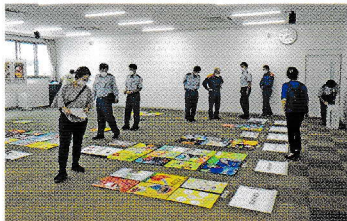
# 東 西 南 北

## 第42回 火災予防ポスター作品審査会を開催 銚子市消防本部

銚子市消防本部では、令和5年9月27日(水)、市内小学校4～6年生から応募のあった火災予防ポスター90点を対象に、審査員として市内中学校美術教諭の協力を頂き作品審査会を行いました。

作品審査会は昭和55年から始まり、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け実施を見合わせましたが、今年度で第42回を迎え、全国統一防火標語をモチーフに、小学生の視点で描かれた力作が揃いました。

作品審査会で選ばれた最優秀賞作品(市長賞)は、平成8年度から火災予防啓発ポスターとして印刷、火災予防運動に併せて市内各事業所へ配布し、児童を通じて防火の意識を市内事業所、各家庭に広く普及しております。



銚子市長賞

## 外国人技能実習生を対象とした防火防災講話を実施 夷隅郡市広域市町村圏事務組合

夷隅郡市広域市町村圏事務組合大原消防署では令和5年9月26日、様々な職種の技術習得のため来日し研修を受けている外国人技能実習生を対象とした防火防災講話を行いました。

当管内には、外国人技能実習生の第1次の受入機関があり、そこから千葉県内、外の各地へ分かれて働く実習生が多いことから、地域特有の防災対策や案内用図記号(ピクトグラム)の説明、電気、ガスの安全な使用方法及び緊急時の安全対策について、専属の通訳を介して、身振り手振りを交えながら説明を行いました。また、訓練用水消火器での実習体験を行い消火器の使用法への理解を深めてもらいました。

実習生の国籍はタイ、ベトナム、ミャンマーと様々ですが、それぞれが講話に耳を傾け、実習体験にも積極的に取り組んでくれました。

今後も、外国人技能実習生を対象とした防火防災講話等を事業所に働きかけ、実習生が地域の一員となれるよう努めてまいります。



## 令和5年度火災予防ポスター展表彰式を開催 佐倉市八街市酒々井町消防組合

佐倉市八街市酒々井町消防組合では、令和5年11月10日(金)に火災予防ポスター展表彰式を開催しました。

火災予防ポスター展は、毎年佐倉防火安全協会との共催により、火災予防の普及を図るため、組合管内の小学生に火災予防に関するポスターの募集を行っています。

今年は30校から385点の作品の応募があり、最優秀賞の作品は令和5年度の火災予防オリジナルポスターとして組合管内に掲示しています。

### 令和5年度 火災予防ポスター展表彰式





## 東 西 南 北 鉄道車両事故等対応訓練を実施 柏市消防局

柏市消防局東部消防署では、10月27日にJR東日本松戸車両センターにおいて、鉄道車両事故等対応訓練をJR職員と実施しました。

実車両を使用したジャッキアップ訓練と車内からの避難誘導訓練を行い、避難誘導訓練では消防側とJR側の各種資器材を活用したり、徒手による搬送などを行い、様々な救出要領を確認することができました。JR職員からも「有意義な訓練となった。」と好評を得ました。

今回の訓練を活かし、円滑な救助活動が行えるよう、引き続き関係機関との連携を密にし活動していきます。



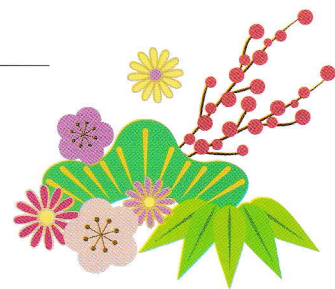
## 日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

令和6年1月

4日 仕事始め

5日～2月11日 令和6年出初式



2023年度 全国統一防火標語  
「火を消して 不安を消して つなぐ未来」

### <表紙の説明>

台風第13号 長生郡市広域市町村圏組合消防本部活動写真（茂原市）長生支部

令和5年台風第13号は千葉県茂原市において、期間降水量405mmを記録し9月の降水量平均値である229.5mmを超え、河川の氾濫や多くの住宅・店舗が床上浸水する甚大な被害をもたらしました。

消防職員及び消防団員は今回の大雨の中、冠水する道路での救助活動や、被災した住宅・店舗の復旧活動などで活躍し、地域防災の中核として非常に重要な役割を果たしました。

